



# 2017 ANNUAL REPORT

平成29年度 年次報告書



平成29年度 年次報告書  
**ANNUAL REPORT**

公益財団法人 佐賀未来創造基金  
(愛称:さがつく)  
〒840-0813  
佐賀市唐人二丁目5番12号 TOJIN茶屋3F  
TEL 0952-26-2228 FAX 0952-37-7193  
URL: <http://saga-mirai.jp/>

## 理事長からのご挨拶

こんにちは。佐賀未来創造基金( 愛称 : さがつく )代表の山田健一郎です。

早いもので、さがつくは今年で創立5年目を迎えました。これも皆様のご支援の賜物と深く感謝いたしております。私たちは地域課題の解決と、地域に新しい価値を創造するため、寄付者の皆様の想いをカタチに、佐賀を住みよく魅力的にすべく日々活動しています。

これまでに、累計200プログラム、約4,500万円を超える皆様からの想いを、助成金やボランティアと言うカタチにして県内CSO(市民社会組織)にお届けしてまいりました。

今年度は更なる恩返しの意味を込め市民コミュニティ財団としては全国で初めて「ふるさと納税」を活用した寄付プログラムを始めました。

「ふるさと納税」寄付は佐賀県と協働して行うことで、公益性と信頼が証しとなり、寄付者の皆様の新たな寄付のキッカケとなる仕組みです。

税制優遇制度や返礼品なども大切ですが、私たちは市民コミュニティ財団らしく地域課題を軸に多くの方々と共に「善意の資金循環」による解決策にチャレンジしていきます。

さがつくは、「官民協働型ふるさと納税ファンドレイジング」で皆様と共に次のステージに進みたいと考えております。これからも「佐賀の未来と一緒に創っていきましょう!」

引き続きご指導、ご支援をよろしくお願ひいたします。



公益財団法人 佐賀未来創造基金  
理 事 長 山田 健一郎

## もくじ

理事長からのご挨拶	01
地域課題の解決にあたって	02
平成29年度に実施した寄付・助成プログラム	03
平成29年度助成先一覧	11
CSOへの研修事業	12
寄付文化の普及啓発事業	14
5年間の財政状況	16
佐賀未来創造基金について	17
創設寄付ならびに財団応援寄付者の方々	18

## 地域課題の解決にあたって

### 新たな領域へ!

地域に密着し、地域の皆さんと共に、地域課題の解決に挑戦しています。

#### → 子どもの貧困・社会的孤立の解消 「さが・こども未来応援プロジェクト」



子どもの貧困、社会的孤立の解消に向けて専門NPOや行政、生産者等と連携して、ふるさと納税ファンドレイジングや子どもの居場所づくり支援等の仕組みづくりを実施。

#### → 遊休不動産を活用した 「エリアマネジメント」



中心市街地の空家・空店舗を佐賀市中央大通りエリアマネジメント協議会と連携して現状調査、地域円卓会議、空家助成等を実施、担い手の発掘育成と資源活用による地域づくりを実践。

#### → お祭りの散乱ごみを市民の力で削減! 「ごみダイエット大作戦」



県内最大の夏祭り「佐賀城下栄の国まつり」。行政・商工会・企業・学生等のボランティアによるごみの分別・啓発活動で散乱ごみを削減。

#### → 災害緊急対応・復興支援活動、地域自主防災力を高める仕組み 「佐賀災害支援プラットフォーム」



県内CSOはじめ誘致CSO等の多様な主体との協働による災害・復興支援と地域防災の仕組みづくり。

#### → 行政との協働



佐賀県が国連公共サービス賞を受賞した県民協働の取り組みをはじめ、ふるさと納税NPO等指定、そしてCSO誘致など、行政との協働による地域の生態系づくりを実施。

#### → 企業との協働



地元メディアや地域金融機関、建設、環境系会社、士業専門家等による冠基金助成や連携事業の実施。

#### → 地域金融機関とのソーシャルビジネス等支援協定



日本政策金融公庫佐賀支店、(一社)市民生活パートナーズと「ソーシャルビジネス支援創生ネットワークさが」を設立して融資・コンサルティングや助成・利子補給などでSB支援。佐賀共栄銀行との冠基金や研修、クラウドファンディング活用支援のローカルプラットフォーム「クラウドSaga」設立。

#### → 全国組織との連携

全国組織の役員就任やパートナー事業など様々なアライアンス  
・認定NPO法人 日本ファンドレイジング協会  
・一般社団法人 全国コミュニティ財団協会  
・一般社団法人 全国レガシーギフト協会



# 平成29年度に実施した寄付・助成プログラム

## 33プログラム

33プログラムは助成団体と当財団が協働して寄付集めを行う「事業指定寄付」と、募金箱や寄付付き自販機の設置、古本・書き損じハガキの収集等で寄付を集める「事業型寄付」を組み合わせた寄付・助成プログラムです。

### 第6期「33プログラム」 事業型寄付・助成プログラム

#### 事業名:キッズミュージカル TOSU公演事業

団体名:NPO法人 鳥栖子どもミュージカル(鳥栖市)

寄付総額:75,782円

助成額:48,656円

子ども達がこれから社会で生きていく上で、何かに本気になって取り組む経験が必要だと考えています。鳥栖子どもミュージカルでは「ミュージカルという表現活動を通して子どもの健全育成とともに、地域から質の高い文化の発信」を目的に、鳥栖市及び周辺地域の小中学生を対象に、毎年公募し、歌、ダンス、演技の5人の専門講師による約1年間のレッスンを重ね、年1回の舞台公演を行っています。公演の成功を目指すためには皆が心をひとつにして練習に取り組みます。その中で協調性や思いやりの心が芽生え、助け合い励まし合つて感動を届ける舞台ができます。



#### 事業名:さがの若者と熟年の「お騒がせ」東京公演事業

団体名:舞台創造研究所 スタジオ風のたね(佐賀市)

寄付総額:526,000円

助成額:419,000円

佐賀を拠点とする2つの劇団の東京公演です。10代の子どもたちの「ティーンズミュージカルSAGA」のミュージカルとライブショー、45歳以上の中高年劇団「SAGAパーカクシアター」のシェイクスピア原作「から騒ぎ」佐賀弁バージョンです。5年ぶりの東京公演で人生経験豊かな中高年が東京からさがの文化を発信するとともに、関東圏の九州出身者や演劇を愛する方々に楽しんでいただきました。



#### 事業名:川上が贈る「4つの感動」創生事業

団体名:川上校区まちづくり協議会(佐賀市)

寄付総額:286,000円

助成額:250,774円

川上校区は、古代から栄えた歴史ロマンに満ちた地域で、地理的にも川上川の清流や筑紫山ろくからの眺望など来訪者が魅力を感じる地域であり、住民一丸となって「川上の良さ」を校区外に発信し、地域活性化を目指した活動を開催してきました。①観光拠点の磨き上げ ②来訪者の川上めぐり(フットバス)の魅力あるコースづくり ③新たな観光拠点の整備(大久保台場展望所の充実) ④明治維新150年を記念し、大久保台場復元に向けたクラウドファンディングにより寄付を募集し事業を実施しました。



## 冠寄付・助成プログラム

地域の課題解決に取組むCSOを支援できる「寄付者オリジナル」の助成プログラムです。寄付者は支援する分野やエリア、基金の名称、助成対象・金額など、ご希望に合わせたプログラムを設立できますので、その「想い」を反映できます。また、助成先の募集をはじめ審査・選定は当財団にて行いますので、運営の手間やコストを抑えることができます。

### 第8期きょうざん未来基金 (助成総額 1,500,000円)

#### 事業名:地域ケアボランティア養成講座事業

団体名:だいでんケアネットワーク事業(小城市)

助成額:100,000円



「住み慣れた自宅や地域で最後まで自分らしく生きる事を支える町づくり」を目指し、子どもから高齢者まで、病気や障がいがある方々にも優しい、思いやりのある町をつくる重要性について一般市民を対象として啓発しています。ケアが必要な方や家族に寄り添い、お互い様の精神で支援するボランティアを養成するため「地域ケアボランティア養成講座」を7月から9月までに6回開催、25名が修了しました。修了者25名で「だいでんケア・ボランティアの会『えがお』」が発足しました。

#### 事業名:ふれあい活動で安全安心な町づくり健康教室事業

団体名:天祐一丁目自治会福祉部会(佐賀市)

助成額:200,000円



少子高齢化や人口減少に伴い、保健・福祉制度の改定や減額が実施されている中、高齢になっても健康で皆に迷惑をかけたくないという地域住民の声があり、身近な地区公民館での「健康教室」を開催しています。年間実施回数は40回で、毎回30名程度の参加者があります。

体操の指導は、参加者が実施しているため負担が重く、今回の助成金で高齢者でも扱えるDVDの映像装置を導入することが出来ました。

#### 事業名:多胎( 双子・三つ子 )支援事業

団体名:双子・三つ子サークル グリーンピース

助成額:300,000円



双子・三つ子など多胎の妊娠・出産・育児は高リスクで、多胎家庭は外出困難や孤立しやすい状況にあります。また、多胎の妊娠、出産、育児に関する情報は極めて少なく、育児不安も非常に高い状況です。

多胎家庭への支援の必要性を行政・医療・教育・福祉や地域の支援者に知つてもらうために「多胎支援を考える講演会」を10月に開催しました。支援者、学生、保護者など約100名のほか知事、県議市議、医療関係者の参加があり、県全体への連携拡大が期待されます。

# 平成29年度に実施した寄付・助成プログラム

## 第8期きょうぎん未来基金（助成総額 900,000円）

この基金は株式会社佐賀共栄銀行様が、県内の①障がい者福祉、介護・高齢者福祉 ②医療・保険 ③子ども・子育てに関する事業を行うCSOの活動を対象に冠基金として設立されたものです。

### 事業名：「助け合いヘルパー」養成と「たすけあい食堂」の開店事業

団体名：認定NPO法人たすけあい佐賀（佐賀市）

助成額：300,000円

地域社会での高齢者支援ボランティア「たすけあいヘルパー」の養成により、地域共生支え合い力（支援が必要な人の発見や支援ニーズのヒアリング、支援の協力体制構築、地域社会の活性化と次世代への引き継ぎ等）が向上し健康寿命の延長につながります。「たすけあい食堂」の開店により、「助け合いヘルパー」の活躍の場ができ高齢者が安心安全な楽しい生活が出来るようになりました。「たすけあいヘルパー」は30名を養成し、「たすけあい食堂」の利用者は613名に達しています。



### 事業名：子どもアート活動推進事業

団体名：岳の棚田環境保全協議会（有田町）

助成額：200,000円

岳の棚田は棚田百選にも選ばれた景勝地ですが、後継者不足や耕作放棄により景観が壊れています。昨年開催したイベントでは1800人の来場者が有りましたが、さらに棚田の魅力や現状の課題を伝えるため8月に「Tシャツ原画ワークショップ」を有田工業高校デザイン科の生徒と子ども達とで行い、78作品が出来上りました。10月の「棚田Tシャツアート展」には計155枚のTシャツを展示。親子連れが多く訪れ棚田の景色とアート作品を楽しんでいました。



### 事業名：オストメイトハンドブック作成事業

団体名：公益社団法人日本オストミー協会佐賀県支部（佐賀市）

助成額：200,000円

オストメイトに必要な各種相談先、ストーマケア、福祉制度など佐賀県内の情報を中心に取りまとめたハンドブックを編纂しました。編纂したハンドブックは佐賀県内のオストメイト約1400名に市町の福祉部署や装具販売店を通じて配布、病院や市町の窓口に備え新たにオストメイトになった方への配布、オストメイト関連の講演会などで来場者への配布を行いました。ハンドブック作成が新聞報道され看護学校の教材や学会での参考資料としても要望があり、配布しました。総配布数は3000部です。



### 事業名：産後母子への事業の自己負担額の軽減

団体名：NPO法人心ゆるり（みやき町）

助成額：200,000円

産後の母子が健やかな心身を維持するため、気軽に、積極的に産後ケアを取り入れられるよう、通常料金より4,000円減額して提供しました。「きょうぎんサポート枠」では、新規利用者に限定せず継続利用者は月1回を上限とし3回まで利用可能としました。期間内に32組にご利用いただき、アンケートには「料金が下がり、利用しやすくなり不安が解消された。」などの回答が寄せられました。



## 第9期きょうぎん未来基金（助成総額 800,000円）



### 事業名：佐賀県の児童養護施設や里親家庭に暮らす子ども達の自立支援事業

団体名：認定NPO法人ブリッジフォースマイル（佐賀市）

助成額：210,000円

児童養護施設や里親家庭で育つ子どもたちへの自立支援、退所後支援は彼らが貧困の連鎖を断ち、自立した生活を送る上で欠かせない支援となっています。児童養護施設の中高生を対象とした自立支援、インターンシップ等の就労支援を行います。自立支援では県内11ヶ所の児童養護施設及び児童相談所等で生活する中高生に、キャリア教育等に関する出張セミナーや、自活に備えるため集合型セミナーを開催しました。



<佐賀新聞2017年9月27日>

### 事業名：プロレスを通じた地域活性化及び子どもの健全育成事業

団体名：地域活性化いじめ撲滅プロレス実行委員会（佐賀市）

助成額：250,000円

小学生の頃「いじめ」にあった元世界チャンピオンだったプロレスラー将火怒（まさかど）氏が、学校、教育委員会、その他の機関と提携して、いじめ撲滅活動を展開しています。道徳の授業などに資料を配布し、いじめや友達の事で悩みがある子の相談先として「将火怒相談室」をつくり、子ども達のSOSの声を受け止め寄り添う活動をしています。



<佐賀新聞2018年4月15日>

# 平成29年度に実施した寄付・助成プログラム

## 第9期きょうぎん未来基金

### 事業名 :0歳からのファミリーコンサート事業

団体名：嬉野市民吹奏楽団(嬉野市)

助成額：150,000円

0歳から大人まで気楽に楽しめる、小さくても本格的なコンサートを開催しました。曲目も昔から伝わる童謡から最近はやりの曲を中心に飽きのこないプログラムを計画しました。子どもたちが楽しくなるアニメ体操の音楽など、ハイハイや伝い歩き世代の小さな子どもが自由に動き回れるように観覧席の一部にはマットを敷き、お母さんも周囲を気にしないで音楽が視聴出来る空間を演出しました。



### 事業名 :発達が気になる親子のためのサロンSUN～讃～事業

団体名：白石町子育てサークル はぐはぐ(白石町)

助成額：90,000円

白石町には未就学児童を対象とした発達や障がいに関する相談支援場所が無かったため、発達が気になる親子のためのサロンSUN～讃～を立ち上げました。①座談会や講座体験活動を通して、子どもたちの多様性を認め合う場 ②親のこころやカラダのケア、日々の子どもとの関わりを讃えあう場 ③子どもたちがこの町で育っていくために地域でのサポートとなってくれる人との出会いの場として、月1回活動しています。



### 事業名 :「たすけあい食堂」の運営事業

団体名：認定NPO法人たすけあい佐賀(佐賀市)

助成額：100,000円

高齢化社会では介護予防活動を活発にすることが重要です。たすけあい佐賀では2017年5月よりランチ＆娯楽レクレーション＆くつろぎ空間として「たすけあい食堂」を運営し、5月から11月まで25回開催し613名の参加者がありました。また、校区の子どもの居場所づくりの会場としても活用されています。これからは音楽＆体操＆カフェサロンも新設し、年間の利用者延1200名を目指しています。



## 今どき市民活動ひとくちメモ

### ☆コレクティブインパクト(Collective impact)

特定の社会課題に対して、ひとつの組織の力で解決しようとするのではなく、行政、企業、CSO、基金、市民などがセクターを超えて、互いに強みやノウハウを持ち寄って、同時に社会課題に対する働きかけを行うことにより、課題解決や大規模な社会変更を目指すアプローチのこと。

## 佐賀新聞社 第11回「エコさが」基金（助成総額 550,000円）

### 佐賀新聞社公共広告キャンペーン

#### 「ストップ・ザ・温暖化」

佐賀新聞社の公共広告キャンペーン「エコライフ・エコライブさが」の一環「エコさが」基金は、環境保護や循環型社会の推進などをテーマとして地域で積極的に活動する団体・個人を対象として設立されています。



### 事業名 :アート展を通じた子どもの自然学習推進事業

団体名：岳の棚田環境保全協議会(有田町)

助成額：150,000円

岳の棚田は棚田百選にも選ばれた景勝地ですが、後継者不足や耕作放棄地により景観が壊れています。この問題を地元から共有すべく昨年から「棚田Tシャツアート展」を開催しています。今年も同展を開催するにあたり、昨年度実施できなかった自然学習や清掃活動として歩道の草刈りやゴミ拾い、ケイトウやランタナ苗各50株の植栽を行いました。



### 事業名 :街なかクリーク体験事業

団体名：さがクリークネット(佐賀市)

助成額：250,000円

世界最大級の総延長と言われる佐賀のクリークが持つ魅力を再び活用し、街の賑わい再生や観光へと繋げていくためのステップとして、かつてのように街がクリークに向って開き、クリークに寄り添った佐賀ならではの暮らしの風景づくりを目指し、クリーク体験乗船イベントを開催しました。「裏十軒堀川」に仮設の船着き場を設置し和船体験、カヤック体験を実施しました。（体験乗船参加者 50名）



### 事業名 :海や森の豊かさとつながりを知る実験や体験を通して学ぶ環境教育事業

団体名：えこいく(佐賀環境フォーラム環境教育班)(佐賀市)

助成額：150,000円

私たちは地域の子ども達に向けた環境紙芝居や、ごみ分別ゲームなど自作の環境教育プログラムを通して、子ども達と一緒に環境教育を行っています。今年度は次の活動を実施しました。

- ① 保育園、幼稚園、小学校への環境出前講座/2回
- ② わいわい!!キッズ環境教室/1回/スタッフ3名、参加者5名
- ③ すずむしの音乐会/1回/スタッフ8名、参加者1組
- ④ えこいく1Day合宿/1回/スタッフ15名、参加者38名
- ⑤ えこいく公開講座/1回/スタッフ6名、参加者17名
- ⑥ 西与賀キッズクラブ/2回/参加者32名

子ども達の参加者のほか、想定数を越える大学生スタッフの参加がありました。



# 平成29年度に実施した寄付・助成プログラム

## 佐賀新聞社 第3回「ばぶばぶ」基金（助成総額 300,000円）

「ばぶばぶ」基金は、子育て支援に取組む活動団体を対象に、佐賀新聞社が県の委託で取組んでいる、子育て応援の店事業の自動販売機の売り上げの一部を充てていただいています。



### 事業名：多胎ファミリー応援フェスタ事業

団体名：双子・三つ子サークル グリーンピース（佐賀市）  
助成額：90,000円

多胎の育児の過酷さは経験者にしか判らない苦労があります。そこで県内の多胎家族が集まるイベントを開催し（平成18年11月）、孤独感を軽減し仲間作りのきっかけづくりを目指します。また行政・医療・福祉や地域支援者が多胎家族と交流したり、実際に多胎育児体験を行ったりする機会を設けて、多胎育児の大変さや現状を知ってもらい、各地域の多胎家庭への支援や当会と連携し支援を考えしていく機会とします。



<佐賀新聞2018年4月11日>

### 事業名：安定した継続活動のための居場所づくり事業

団体名：充実した福祉のまちを目指すチャレンジ「リノラ」（唐津市）  
助成額：70,000円

発達・障がい・病気などの悩みをもつ保護者や当事者、難病のある子どもや保護者、ご家庭に障がい者がおられる方を対象に、家族の情報交換の場を設け孤立化を防ぐ活動をしています。「茶話会」や勉強会を他に場所を借りて開いていますが、有志の方から場所の提供があり、今回の助成金でその場所の整備と、中古のパソコンを購入する事ができ、今まで外部に発注していたイベントのチラシなども、自分で製作できるようになりました。



<佐賀新聞2018年4月13日>

### 事業名：地域の文化伝承「武雄の紙芝居」製作事業

団体名：武雄ん絵音つくるっ隊（武雄市）  
助成額：70,000円

私たちは子ども達が郷土の歴史や伝承、自然や文化などに关心が持てるようオリジナルの物語を製作し、映像・朗読・音楽による「絵音ライブ」活動を行っています。本事業は「これらの物語を紙芝居にしてほしい」という声に応えて、地域の宝に興味関心を持つ子ども達の育成、地域住民の文化伝承支援、そして喜びと誇りある豊かな暮らしづくりへの貢献を目的としています。今回の助成金で過去6年間に作成した作品から2作品を選び紙芝居（3セット）に作り替え、武雄市こども図書館に寄贈するほか、1セットは上演用、1セットは貸出用として活用しています。



<佐賀新聞2018年4月12日>

### 事業名：食育活動の為の団体基盤強化と街なかおむすびイベントの開催事業

団体名：おむすびころりん（佐賀市）  
助成額：70,000円

佐賀が誇るお米を使った「おむすびづくり」を通して、幼児期（3才以上）からの食育活動を行っています。「おむすび」をつくり、いただくながで食の大切さや有難みにふれる機会にし、子ども、親、地域でコミュニケーションを広めています。



<佐賀新聞2018年4月14日>

## トリカイ人づくり応援基金（助成総額 430,000円）

鳥飼建設株式会社様（基山町）が、会社創立50周年を記念し基山町を重点地域とした佐賀県全域に、人材育成及び経済活動の活性化を図る活動に助成することで、地域課題の解決を図る目的で設立されました。

### 事業名：田澤記念館ユースカレッジ事業

団体名：一般社団法人田澤記念館（鹿島市）  
助成額：200,000円

受講生17名が集団生活を通して、コミュニケーションを図りながら、団体活動の意義やリーダーの役割、地域における活動力の習得を図りました。

- ①集団活動／黒髪少年自然の家で法人理事・自然の家スタッフにより1泊2日の宿泊研修
- ②館外研修／下村湖人生家、大塚製薬、多久聖廟、海自佐世保資料館、玄海エネルギーパーク
- ③市内巡り／鹿島市役所、東亜工機（株）、森鉄工（株）、鹿島機械工業（株）



### 事業名：柿の食文化「巻き柿」の伝承者の養成と製品化による地域活性化事業

団体名：湛念の里と葉隠の会（佐賀市）  
助成額：230,000円

肥前大和松原地区の食文化「巻き柿」の伝承と商品化を進めるため伝承者の養成と育成を行うとともに、継続して作れるような体制を就労支援事業所と協働して作りました。本年度は標準作業の確立、商品パッケージの開発、販売方法・販路について佐賀県六次産業支援センターとも協働しました。



<佐賀新聞2018年1月25日>

## 1qトリソミー基金

超希少難病「一番染色体長腕部分トリソミー症候群（1qトリソミー）」の患者とその家族を支援することを目的として、大分県佐伯市の支援者の方々からの寄付で創設された基金です。

### 事業名：患者家族交流会事業

団体名：1q部分重複症候群患者家族会（佐賀市）  
助成額：300,000円

私たちは

- ①全国に点在する患者家族が集い、情報、悩み、喜びを直接共有すること
- ②今後の生活の質を向上させる為、より専門的客観的なアドバイスを受けること
- ③交流会の成果や家族会の課題などをホームページで関係者や一般に伝えること

を目的に活動を進めています。本年度は8月に「第1回1q部分重複症候群集団外来」を埼玉県立小児医療センターで開催し、9家族、31名が参加されました。「第8回ひとやすみの会全国交流会in埼玉」も同時開催し12家族38名のほか医療関係者など13名の参加がありました。



<佐賀新聞2017年11月17日>

# 平成29年度 助成先一覧 (平成30年3月31日現在)

助成団体 18団体 / 助成総額 4,880,590円

## 33プログラム事業型寄付による助成／助成合計額／48,656円

《助成先団体》	《事業名》	《金額》
NPO法人鳥栖子どもミュージカル	キッズミュージカル鳥栖公演事業	48,656円

## 33プログラム事業指定型寄付による助成／助成合計額／669,974円

《助成先団体》	《事業名》	《金額》
舞台創造研究所 スタジオ風のたね	若者と熟年のスタジオ風のたね東京公演事業	419,200円
川上校区まちづくり協議会	川上が贈る「4つの感動」創生事業	250,774円

## 冠寄付助成プログラムによる助成／助成合計額／4,001,266円

《基金名》	《事業名》	《助成合計額》
第8期きょうぎん未来基金	助成先・助成金額は4～5頁に記載	1,500,000円
第9期きょうぎん未来基金	助成先・助成金額は6～7頁に記載	800,000円
佐賀新聞「エコ佐賀」基金	助成先・助成金額は8頁に記載	500,000円
佐賀新聞「ばぶばぶ」基金	助成先・助成金額は9頁に記載	300,000円
トリカイ人づくり応援基金	助成先・助成金額は10頁に記載	430,000円
1qトリソミー基金	助成先・助成金額は10頁に記載	300,000円
ファミリーハウス設立基金	ファミリーハウス設立および運営／よかことしよう会(佐賀市)	171,266円

## 事業型寄付プログラムによる助成／助成合計額／160,694円

《助成先団体》	《事業名》	《金額》
NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会	「せんせーあのね」作品集作成事業	949円
NPO法人佐賀子育て応援団ココロ	安全安心な子育てものづくり支援事業	9,880円
基山フューチャーセンターラボ	基山フューチャーセンターラボ「アンテナショップ」事業	8,701円
佐賀から元気を送ろうキャンペーン	熊本震災支援事業	16,934円
NPO法人鳥栖キッズミュージカル	キッズミュージカル鳥栖公演事業	75,782円
よりみちステーション	子ども若者を中心とした地域の居場所づくり事業	30,768円
舞台創造研究所スタジオ風のたね	若者と塾年のスタジオ風のたね東京公演事業	2,603円
NPO法人とす市民活動ネットワーク	県東部地区地域基金立上げ事業	248円
NPO法人おせっかい工房咲風里	心の不調を防ぐセルフケア能力を高める事業	6,189円
NPO法人心ゆるり	産前産後の母子と家族への心身サポート事業	452円
NPO法人ぼっぽワールド	子育てママの部活動「リフレ」事業	4,610円
NPO法人伊万里はちがめプラン	生ゴミ有効利用による環境の町づくり事業	1,110円
川上校区まちづくり協議会	川上が贈る「4つの感動」創生事業	2,468円

# CSO(市民社会組織)への研修事業

## (1)『支援者獲得・イベント集客が変わる情報発信プログラム』セミナー

日 時：平成29年6月20、21日、8月1日、9月5日、10月10日  
 場 所：TOJIN茶屋2階 多目的スペース(佐賀市)  
 参加団体：7団体  
 講 師：加藤たけし氏(株式会社ループス・コミュニケーションズ)・玉木尚宏氏(グーグル合同会社)  
           田中清孝氏(グーグル合同会社)・石田智裕氏(snuggle代表)  
           植原正太郎氏(NPO法人グリーンズ)  
 研修目的：ホームページ、FaceBook、SNSをWEBマーケティングの手法をもちいて活用し、  
           支援者獲得、イベント集客、寄付の拡大につなげる手段を体得する。  
 研修内容：WEBマーケティングの手法をいかに活用するか？

## (2)『第4回ソーシャルビジネス支援』セミナー

日 時：平成29年9月19日  
 場 所：(株)日本政策金融公庫佐賀支店 6階会議室  
 参加者数：65名  
 講 師：坊垣佳奈氏(株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング取締役)  
 研修目的：ソーシャルビジネス事業者を対象に、創生ネット佐賀(佐賀未来創造基金、(株)日本政策金融  
           公庫佐賀支店、(一社)市民生活パートナーズ)から資金調達の為のMakuakeによるクラウド  
           ファンディングの活用法を学ぶ。  
 研修内容：クラウドファンディング活用で事業資金を調達する。

## (3)社会的課題解決セミナー

課題解決の活動を既に実施し、成果を上げているCSOを佐賀に招き、その活動を紹介していただき、私  
 たちに出来ることは何かを考えるセミナーを開催しました。

### 第1回「「子どもの貧困×市民活動」で佐賀を変える、佐賀から世界を変える」

日 時：平成29年10月20日 場 所：TOJIN茶屋2階 多目的スペース(佐賀市)  
 参加者数：56名 講 師：渡辺由美子氏(NPO法人キッズドア理事長)  
 研修目的：現在の社会課題、地域課題である子どもの居場所づくり、貧困対策について学ぶ。

### 第2回「フェアトレード×市民活動」で佐賀を変える、佐賀から世界を変える』

日 時：平成29年11月10日 場 所：TOJIN茶屋2階 多目的スペース(佐賀市)  
 参加者数：42名 講 師：小松豊明氏(NPO法人シャプラニール事務局長)  
 研修目的：国際的な貧困対策の課題であるフェアトレードについて学ぶ。

### 第3回「児童労働×市民活動」で佐賀を変える、佐賀から世界を変える』

日 時：平成29年12月15日 場 所：TOJIN茶屋2階 多目的スペース(佐賀市)  
 参加者数：48名 講 師：岩附由香氏( NPO法人ACE代表)  
 研修目的：国際的な貧困対策の課題である児童労働について学ぶ。

# CSO(市民社会組織)への研修事業

## (4)『子どもの居場所シンポジウム』セミナー

### ～たべる あそぶ まなぶ 広げよう子どもの居場所～

日 時：平成29年12月3日  
場 所：佐賀市青少年センター 3階(佐賀市) 参加者数：100名  
研修目的：現代の大きな社会課題となっている「子どもの貧困」について学びCSO、企業、自治体が協働して解決に向かうために現状の課題と、これからの解決策を模索する。

内 容：(1)講演  
「子どもの居場所とネットワーク」渡辺達也・美樹氏(NPO法人ゆめ まち ねっと代表)  
「子どもの貧困と居場所づくり」幸重忠孝氏(NPO法人こどもソーシャルワークセンター代表)  
(2)分科会と事例発表  
①渡辺達也・美樹氏(NPO法人ゆめ まち ねっと代表)  
②小林由江氏(よりみちステーション代表)  
③宮崎知幸氏(佐賀こども食堂代表)  
(3)クロージングシンポジウム



## (5)CSO信頼度向上セミナー

日 時：平成30年1月12日 場 所：佐賀市市民活動プラザ 4F 会議室(佐賀市)  
参加者数：27名  
講 師：石原達也氏(岡山NPOセンター副代表理事)  
山田泰久氏(一般財団法人非営利組織評価センター業務執行理事)  
研修目的：地域の課題を解決するためには、受益者からの信頼はもとより活動を支える支援者や、今後支援者となりうる人々からの信用を得る必要があり、信頼や信用を得るために必要なものは何かを学ぶ。

## (6)佐賀CSO向け遺贈セミナー

日 時：平成30年2月10日 場 所：TOJIN茶屋2階 多目的スペース(佐賀市)  
参加者数：22名  
講 師：山北洋二氏(NPO法人日本ファンドレイジング協会理事)  
研修目的：遺産の一部をNPO等の団体に寄付をする贈与寄附への関心が年々高まっている折から、遺贈寄付に関する基礎知識を習得する。  
研修内容：高齢者の社会貢献の鍵を握る贈与寄付について「遺贈寄付ハンドブック」(日本ファンドレイジング協会発行)をテキストとして、法務、税務、信託などの幅広い領域について研修した。



## (7)佐賀「空き家」地域円卓会議

日 時：平成30年2月24日 場 所：TOJIN茶屋2階 多目的スペース(佐賀市)  
参加者数：56名  
論点提供者：塙原 功氏(NPO法人空家・空地活用サポートSAGA)  
パネラー：佐賀市副市長、学識経験者、地域世話役、空家所有者、メディア記者  
会議目的：高齢化や人口減少に伴って増え続ける空き家の課題や解決策を地域住民や行政、民間団体が一緒に考えて考える。

# 寄付文化の普及啓発事業

## (1)さがつくAWARD2017

### ～平成寄付維新! Social Innovation Summit in 佐賀～

恒例の「さがつくアワード2017」を平成29年12月16日 ロイヤルチェスター佐賀にて開催しました。



## (2) 総務大臣表彰を受賞

「地域の共同活動に熱心に取組み、行政に積極的に参画し地方自治の発展向上に寄与した」として、地方自治法施行70周年を記念して総務大臣表彰を受賞しました。

内閣府大臣政務官山下雄平参議院議員から表彰状と副賞の盾が授与されました。



## (3) 公開講座での講演

### 佐賀大学公開講座

「これぞ！あなたが生きる道」  
～ 地域さえあい活動編II～

平成29年12月2日 受講者30名

### ゆめ佐賀大学

「地域活動グループの活動」

平成29年9月19日 受講者59名  
平成29年11月7日 受講者65名  
平成29年12月4日 受講者33名

## 5年間の財政状況

2018年3月31日現在

		2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度		
収入	寄付金	19,202,347	21,808,845	18,869,394	13,151,207	13,429,931		
	事業収入	15,812,105	6,635,209	3,442,975	6,399,867	5,000,000		
	平成25年度CSOを支援する資金循環創出事業業務委託(佐賀県)	0	0	0	0	5,000,000		
	ボランティア・CSO活動支援情報提供事業業務委託(佐賀県)	0	1,516,320	1,289,704	1,516,000	0		
	県民ファンド推進員育成事業業務委託(佐賀県)	0	0	540,133	740,278	0		
	育児後の再チャレンジ応援・佐賀就職支援事業	0	0	0	3,735,590	0		
	地域女性活躍推進事業受託収入	0	0	1,107,407	0	0		
	佐賀CSOさいこう事業(佐賀県)	7,595,136	0	0	0	0		
	誘致CSO定着事業(佐賀県)	1,600,000	0	0	0	0		
	その他の事業収入	6,616,969	5,118,889	505,731	407,999	0		
補助金		0	15,450,000	20,343,812	18,029,931	10,000,000		
	佐賀県県民ファンド事業費補助金(佐賀県)	0	12,650,000	20,343,812	14,629,931	10,000,000		
	プロボノ支援事業補助金(佐賀県)	0	0	0	3,400,000	0		
	民間助成金	0	2,800,000	0	0	0		
その他	特定資産運用益及び受取利息と雑収入	1,421,400	615,623	234,926	102,519	16,535		
	収入合計	36,435,852	44,509,677	42,891,107	37,683,524	28,446,446		
支出	事業費	31,497,931	39,423,469	33,917,503	26,573,325	24,666,895		
	寄付をもとにしたCSO等への資金支援(助成)額(支払助成金)	4,589,430	8,431,766	12,996,689	6,419,168	11,906,535		
	事業をおこなうために支払った常勤員報酬、職員給与手当額(支払給与/社会保険料)	11,466,389	11,235,801	11,835,381	12,197,221	4,700,941		
	事務所・駐車場の家賃やパソコンのリース料等(賃借料)	1,621,029	3,869,199	1,246,521	264,880	608,524		
	事業のために必要な移動や運搬、電話料等の料金等(旅費交通費/通信運搬費)	5,354,429	4,188,538	1,784,963	1,647,861	1,061,416		
	事業のために必要な備品、物品等の購入、印刷費(消耗品費/印刷製本費)	996,400	1,633,446	1,609,689	2,195,666	3,255,137		
	広報費	1,027,304	925,377	0	0	0		
	広報費(ふるさと納税)	0	3,994,080	0	0	0		
	保険料	316,606	357,536	0	0	0		
	ウェブサイトの構築や専門的な業務を他の組織に任せた費用(委託費)	4,963,285	4,169,141	915,123	1,081,789	1,758,930		
	外部講師等への謝礼金(諸謝金)	455,117	167,748	1,442,979	1,621,539	397,900		
	会議費	343,812	170,205	0	0	0		
	雑費等	364,130	280,632	2,086,158	1,145,201	977,512		
	管理費	法人の管理運営に係わる費用(管理費)	2,985,681	2,905,811	3,612,656	3,219,468	899,472	
	支出合計	34,483,612	42,329,280	37,530,159	29,792,793	25,566,367		
資産	流動資産	現金	1,167,304	289,816	373,733	310,069	13,063	
		預金	12,315,378	4,764,967	3,698,275	2,944,641	13,717,384	
		未収金(佐賀県委託事業完了払い分)	2,154,270	382,898	3,742,064	1,907,686	240,000	
		立替金	0	49,670	104,190	94,520	0	
		固定資産	基本財産(県民の皆さんからの寄付による設立時資産)	3,000,750	3,000,750	3,000,750	3,000,750	3,000,000
			特定資産(冠寄付受入預金)	13,595,047	9,382,199	5,483,788	5,782,019	1,200,000
			特定資産(補助金受入預金)	0	0	2,650,000	4,000,000	0
負債	特定資産(補助金未収金)	0	3,332,315	5,929,605				
		その他固定資産	0	0	0	0	0	
		資産合計	32,232,749	21,202,615	24,982,405	18,039,685	18,170,447	
		流动負債	未払金	1,312,112	2,454,383	5,152,375	2,887,007	11,016,000
債務		短期借入金	10,000,000					
		預り金	456,222	236,057	190,752	181,848	74,348	
		仮受金	0	0	657,500			
		固定負債	0	0	0	0	0	
		負債合計	11,768,334	2,690,440	6,000,627	3,068,855	11,090,348	
	差引正味財産	20,464,415	18,512,175	18,981,778	14,970,830	7,080,099		

### 今どき市民活動ひとくちメモ

#### ☆休眠預金等活用法

平成30年1月に施工された法律。いわゆる休眠預金に掛かる金融機関の取り扱いを規制し、それまで金融機関の収入とされていた休眠預金に係る資金を預金保険機構の管理下とし、当該資金を本法律に定める民間公益活動のために利用できる事と規定した。(ウィキペディア)

# 佐賀未来創造基金について

## 佐賀未来創造基金とは

市民や企業の皆様から寄付を集め、市民活動団体やNPO等のCSO(市民社会組織)に助成することで、地域や社会の課題解決や活性化に取り組む市民立の財団です。

## 使命(ミッション)

当法人は、あらゆる人たちが主体的に地域の未来を担い合うために、必要な資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を循環させる仕組みをつくり、地域で支え合う社会の実現に寄与することを目的としています。

## 佐賀未来創造基金のしくみ



## 事業概要

1. CSO等の資金確保のためのプログラム開発
2. CSO等に対する助成
3. CSO等に対する研修
4. 寄付文化の普及啓発
5. ボランティア活動の普及啓発
6. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

## 組織概要

名 称	公益財団法人佐賀未来創造基金(Saga Future Design Foundation)
設立年月日	2013年4月1日(300万円を超える市民からの寄付により一般財団法人として設立)
公益認定日	2013年11月1日(公益財団法人として佐賀県から認定)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
代表理事	山田 健一郎(理事長)
業務時間	月～金曜日 9:00～18:00(土日祝日、夏期休暇期間、年末年始は休業)
メールアドレス	info@saga-mirai.jp
ウェブサイト	<a href="http://www.saga-mirai.jp/">http://www.saga-mirai.jp/</a>
Facebook	<a href="https://www.facebook.com/mirai.design.saga">https://www.facebook.com/mirai.design.saga</a>
住 所	〒840-0826 佐賀県佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル7階 佐賀市市民活動プラザ 私書箱No.171

# 創設寄付および財団応援寄付者の方々

青木 研輔 / 明司 久人 / 赤羽 浩 / 秋山 翔太郎 / 新ヶ江 利征 / 有岡 大介 / 有馬 正史 / 飯田 豊一 / 池上 明子 / 池田 廣志 / 伊佐 淳 / 石橋 正実  
石橋 裕子 / 石橋 竹春 / 石丸 貴明 / 伊豆 哲也 / 泉 章 / 泉 万里江 / 磯野 孔太 / 一ノ瀬 クミ子 / 伊藤 博教 / 糸山 新一郎 / 稲富 正人 / 井上 徹  
井上 祐嗣 / 井上 義雄 / 井上 謙一 / 井本 浩之 / 今村 晃章 / 岩永 清邦 / 岩永 幸三 / 岩橋 好子 / 岩橋 隆一郎 / 鵜尾 雅隆 / 牛島 洋太郎  
臼井 彰廣 / 内海 邦明 / 内川 実佐子 / 内田 和実 / 宇野 均恵 / 生方 秀樹 / 梅原 恵子 / 江頭 正敏 / 江口 寧子 / 江口 陽介 / 江口 嘉人 / 江島 文子  
江副 太輔 / 江里口 五月 / 円城寺 路子 / 大石 秀一 / 大石 豪 / 大串 煎 / 大久保 利貞 / 大串 由美子 / 大嶋 公子 / 大島 与志行 / 大園 ひろ基  
大野 博之 / 岡 昭久 / 小川 英子 / 小川 登美夫 / 織田 良範 / 織田 洋子 / 鬼橋 忠弘 / 柿山 泰彦 / 片江 洋之 / 加藤 千明月 / 十四代 金ヶ江 三兵衛  
金ヶ江 美里 / 金武 良弘 / 鋸田 みどり / 蒲原 幸子 / 河合 裕子 / 川北 秀人 / 川崎 朋子 / 川崎 真澄 / 川崎 まり子 / 川副 知子 / 川副 富男 / 川原田 知章  
岸川 京子 / 岸川 暢子 / 北村 鐵夫 / 木下 英之 / 木村 仁志 / 木村 晓子 / 木村 利予 / 木本 マユミ / 木山 豪 / 久家 郁子 / 久我 義彦 / 熊谷 誓成  
久米 真一郎 / 久米 文弘 / 倉町 秀男 / 黒田 洋介 / 桑原 賢太郎 / 古賀 くみ子 / 古賀 恵義 / 古賀 駿規 / 古賀 木綿子 / 古賀 由紀 / 古賀 利治  
古賀 直 / 古賀 等 / 小寺 智子 / 小坂 豪 / 小林 由枝 / 近藤 昭 / 近藤 弘樹 / 斎藤 賢輔 / 坂井 あかね / 坂口 孝介 / 坂田 あや子 / 坂村 宏文  
坂本 伸二 / 相良 哲朗 / 指山 順養 / 貞包 好巨 / 相良 豊子 / 佐藤 須美子 / 猿渡 進平 / 重富 峻 / 篠田 憲章 / 志水 宗一郎 / 下川 修 / 下川 尚子  
下田 洋平 / 下村 博史 / 重松 智子 / 生部 高 / 白石 真紀 / 白川 幸一郎 / 新ヶ江 一男 / 陣内 計江 / 末次 典恵 / 末吉 成子 / 杉谷 能央 / 杉本 久和  
鈴木 智恵子 / 鈴木 登美子 / 鈴木 宜雄 / 鈴木 美智子 / 関 順子 / 芹田 博 / 芹田 洋志 / 早田 康司 / 副島 寿夫 / 副島 秀雄 / 園田 良秀 / 園 真規  
胎中 謙吾 / 高岸 修造 / 高園 和幸 / 高田 和幸 / 高取 洋介 / 高橋 美智子 / 高見 博 / 高山 真智子 / 高椋 猛 / 多久島 あかね / 竹下 敦子  
竹下 順一郎 / 竹下 英俊 / 竹下 義洋 / 田中 恒子 / 田中 俊也 / 田中 泰造 / 田中 稔浩 / 田中 博起 / 田中 美穂 / 田中 均 / 田辺 友也 / 谷口 文章  
田村 浩司 / 田村 幸子 / 檀 哲雄 / 丹 直秀 / 千綿 由美 / 塚部 公雄 / 塚本 大助 / 津田 彰 / 筒井 愛子 / 常見 裕之 / 鶴澤 絵美 / 弟子丸 靖宏  
土井 敏行 / 德富 利幸 / 德永 洋子 / 藤木 一弘 / 富岡 ゆか / 富崎 義隆 / 友森 敏雄 / 永石 千賀子 / 永石 博 / 永石 義雄 / 長尾 千夏 / 中尾 さゆり  
中島 一恵 / 中島 清孝 / 中島 孝治 / 中島 正人 / 永瀬 千枝 / 永友 恵子 / 友永 英子 / 永淵 恵子 / 中溝 和久 / 中溝 安志 / 中村 一成 / 中村 琢哉  
中村 雄一郎 / 中村 嘉克 / 長山 愛美 / 名和田 正憲 / 西岡 聖師 / 西岡 明樂 / 西川 正 / 西田 京子 / 西中 隆 / 西村 一守 / 西村 尚子  
西村 輝・旬子 / 西村 芳昭 / 納富 ハヤ子 / 野口 淳子 / 野中 幸子 / 野中 弘文 / 野中 弘子 / 長谷部 嵩 / 八谷 克幸 / 花田 光喜  
馬場 清英 / 濱田 裕子 / 濱野 雄一郎 / 濱本 大樹 / 原 晋介 / 原田 紀代 / 原田 美佐子 / 腹巻 佳代子 / 日浦 初美 / 東 泰史 / 樋口 愛子 / 樋口 啓子  
ヒグチ ハジメ / 日隈 謙 / 遥山 俊寛 / 兵衛 朋美 / 平井 秀彦 / 平田 義信 / 平野 征幸 / 平山 和希 / 平山 香瑞美 / 平山 幸夫 / 福島 直也 / 福田 俊明  
福田 寛乃 / 福成 有美 / 藤井 美佳 / 藤崎 広子 / 藤田和歌子 / 藤光 裕樹 / 藤本 一眞 / 藤本 倫子 / 藤原 一宏 / 藤崎 風起 / 古川 久美子  
古川 隆三 / 古川 孝和 / 古川 知明 / 古川 雅子 / 古田 ユキエ / 古村 友二 / 帆足 光威 / 外尾 彌淑 / 星野 美枝子 / 前田 青地 / 前田 亮斗  
牧瀬 正和 / 松尾 宗明 / 松尾 みち子 / 松尾 瞳 / 松尾 三郎 / 松尾 幸樹 / 松尾 姬佐子 / 松川 希実 / 松川 義太 / 松原 幸孝 / 松本 直治  
松本 良隆 / 松本 祥和 / 見陣 直樹 / 見陣 弘敏 / 水田 敦史 / 水町 嘉宏 / 溝口 康信 / 光武 一 / 光武 渉 / 光野 耕治 / 三岳 晉 / 三原 瞳子  
宮崎 伸市 / 宮崎 俊明 / 宮崎 由香 / 宮崎 良人 / 宮副 直記 / 宮田 崑臣 / 宮司 愛子 / 宮地 大治 / 犢田 口 美樹 / 無津呂 さよ / 村岡 隆治 / 村田 幸生  
本村 曜子 / 森 啓子 / 森 薫 / 諸岡 真由美 / 安永 正 / 安永 宏 / 矢富 明徳 / 山内 克美 / 山口 勝也 / 山口 茂磨 / 山口 照雄 / 山口 達 / 山口 光之  
山口 芳水 / 山崎 静香 / 山路 健造 / 山下 智美 / 山下 雄司 / 山田 紹智 / 山田 一郎 / 山田 久美子 / 山田 健一郎 / 山田 次郎 / 山田 耕一  
山田 直弘 / 山田 博則 / 山田 守 / 山田 真由美 / 山田 由佳 / 山田 良和 / 山田 泰久 / 山田 義光 / 山田 力也 / 山本 敏郎 / 山本 みづほ / 山本 倫子  
山北 洋 / 横尾 隆登 / 横澤 和哉 / 吉川 満義 / 吉田 佳一郎 / 吉原 俊樹 / 芳野 さつき / 吉村 一彦 / 吉村 香代子 / 吉村 興太郎 / 吉村 英夫  
吉村 昌史 / 吉村 美穂 / 吉村 やよい / 力久 尚子 (敬称略、五十音順)

NPO法人アカツキ / atra CORE / アルモニア管弦楽団 / 運の元気塾 / 株式会社エヌワイ企画 / 株式会社エムズ / 有限会社エルアンドエフ  
NP法人 おせっかい工房 咲風里 / オヤモコモ / 株式会社 神風プロダクション / COLORS / キリン整骨院(岳崎 直也) / CROSS B株式会社  
NPO法人クレブスサポート / 劇場ステージマロ / NPO法人北江なごむの里 / 有限会社古賀食鳥 / 株式会社佐賀共栄銀行 / 佐賀県自閉症協会  
公益社団法人 佐賀県看護協会 / NPO法人佐賀県CSO推進機構 / NPO法人佐賀子育て応援団ココロ / 株式会社 佐賀新聞社 / NPO法人セルフ  
NPO法人が市民活動サポートセンター / NPO法人 さが西部市民活動サポートセンター フロンティア / 社会福祉法人 さくら会 / NPO法人ひかり  
佐賀大学Fair Trade Sharearth / 公益財團法人 さわやか福祉財団 九州1ブロック / CSO市民活動センター ようこそ / 有限会社中溝豆腐  
NPO法人 市民生活支援センターふくしの家 / NPO法人 じゃんけんぽん / NPO法人 しょうがい生活支援の会すみか / 株式会社 西日本新聞社  
NPO法人 それいゆ / たいやきカンパニー / NPO法人 たすけ愛京築 / 認定NPO法人 たすけあい佐賀 / 認定NPO法人 地球市民の会 / 塚部美容室  
天山警備保障株式会社 / 認定NPO法人 とす市民活動ネットワーク / NPO法人 ともしび / 株式会社トラベル佐賀 / 日本バスドック協会  
株式会社 西日本新聞広告社佐賀 / 認定NPO法人 日本IDDMネットワーク / 東大手の会 / 有限会社 肥前新生社 / NPO法人 ひまわり  
福祉サービスこころ株式会社 / 一般社団法人 ぶらむ佐賀 / NPO法人 凤雛塾 / 前田印刷 / 山代ガス株式会社 / ヤマトカンキョウ株式会社  
有限会社 有田転写 / 一般社団法人 ユニバーサル人材開発研究所 NPO法人 ようこそ小城 / NPO法人 ライフサポートはる / リタジャパン株式会社  
株式会社 兼重 / 株式会社 ヒューテック / 株式会社 佐賀広告センター 株式会社 美穂野 / 一般社団法人 市民生活パートナーズ  
WIBRAN PUBLICITY / 天祐一丁目自治会 福祉部会 / NPO法人 たらふく館 / 鳥飼建設株式会社 / 有限会社ラビット・コーコ / 株式会社リンドバーグ

平成30年3月31日現在 481名 75法人

## 公益財団法人佐賀未来創造基金への寄付は税制の優遇措置が受けられます

個人の場合は寄付額の最大50%が還付され、法人の場合は損金算入枠が広がります。(納税額により限度額が異なります。個人、法人、遺産相続のいずれの場合も確定申告の手続きが必要です。その際、当財団が発行する領収書と税額控除に係る証明を申告書に添付する必要があります。

**ご寄付の入金方法** ご寄付いただく場合は、寄付決済ページをご利用ください。

**寄付決済ページ** (銀行振込・クレジット決済での寄付のお手続きがオンラインでできるシステムです)

<https://goo.gl/7UdtXv>

ケータイ・スマートフォン  
バーコードをスキャン



ご寄付についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。(佐賀未来創造基金 TEL 0952-26-2228)